

小樽商科大学グローバル戦略推進センター（CGS）教員公募要領

小樽商科大学 CGS グローカル教育部門^(注)において、下記のとおり准教授または教授を公募いたします。

記

1. 担 当 業 務：・CGS グローカル教育部門に関連する英語による国際交流科目を担当する。
また、状況によっては大学院関連科目を担当する。
・CGS グローカル教育部門に参画し、関連する会議に出席するとともに、グローバル教育および国際交流事業の企画・策定に携わり、その運営、実施にあたる。
2. 担 当 科 目：・国際交流科目（経営学、商学、会計学、またはこれら3分野に隣接する専門分野のいずれかが望ましい）また、状況によっては大学院関連科目。
・アジア・オセアニア事情、ヨーロッパ事情、アメリカ事情等の専門共通科目のいずれか（各科目とも複数教員で担当。学生の引率業務等を分担。）
・グローバルセミナー、グローバルフィールドワーク、グローバルインターンシップ等の国際交流科目のいずれか（各科目とも複数教員で担当）。
4. 職 名 ・ 人 員： 准教授または教授 1名
5. 任 期： 定めない。
6. 所 属： CGS グローカル教育部門
7. 専 攻 分 野： 経営学、商学、会計学、またはこれら3分野に隣接する専門分野のいずれかが望ましい。
8. 応 募 資 格： （1）博士の学位を有する方。またはこれに準ずる研究業績のある方。
（2）留学生および日本人学生に対し英語で授業が問題なくできる方。
（3）英語による業績を有する方。
（4）研究活動、教育活動に加え、学内業務（各種委員会および入試業務等）を積極的に遂行できる方。
*大学等における教育経験を有している方が望ましい。また、日本語で学内業務を遂行できる方が望ましい。
9. 採用予定年月日： 令和2年（2020）4月1日または10月1日
10. 給 与： 国立大学法人小樽商科大学職員給与規程に基づく。
11. 応 募 締 切 日： 令和元年（2019）9月30日（月）
これ以降の応募は選考の対象外となる可能性があります。
12. 応 募 書 類：（1）履歴書（学歴・職歴・研究・教育業績などがわかる資料。）
（2）主要学術業績の資料（論文・書籍等。3点以内。電子ファイルが望ましい。）
（3）日本語・英語を用いた修学歴・職歴、あるいはこれらの言語が使用される機関での滞在歴などを日本語で要約したもの。
（4）推薦状（提出が可能な方のみ。）
（5）授業評価報告書（提出が可能な方のみ。）

*これらの書類の書式は自由です。（3）は日本語で、それ以外の書類は日本語または英語で作成してください。審査の状況により、履歴書（本学所定の様式による）、教育研究業績表（本学所定の様式による）、学部・大学

院の卒業並びに修了証明書（修了見込証明書）、学部・大学院の成績証明書、推薦状、顔写真等の提出を願うことがあります。

* 本学所定の履歴書および教育研究業績表は下記 web ページから取得できます。

<https://www.otaru-uc.ac.jp/summary/employment/>

13. 選 考 方 法： 提出書類を書面審査のうえ、必要のある場合は面接および模擬授業を行います。
14. 書 類 提 出 先： 応募書類は JREC-IN Portal
(https://jrecin.jst.go.jp/offer/JorDetail?fn=5&id=D119080176&ln_jor=0) を通じて受け付けます。
*履歴書については、JREC-IN Portal 応募書類作成ツールで作成した履歴書も受け付けます。
*上記の方法で提出できない書類がある場合は、その書類のみ別途、下記の要領で郵送してください。
・ 郵送先：〒047-8501 小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号 小樽商科大学長宛
・ 封筒のおもて面に「CGS グローカル教育部門担当教員応募書類」と朱書きし、書留便にしてください。
15. 連 絡 先： 総務課人事係 TEL：0134-27-5208 FAX：0134-27-5213
E-mail：jinji@office.otaru-uc.ac.jp
16. そ の 他： ・ 本学は男女雇用機会均等法を遵守し、育児支援型勤務時間体制を導入しています。
・ 提出書類は原則として返却しません。履歴書等の個人情報に関わる書類は、審査終了次第、廃棄いたします。

注) CGS とはグローバル戦略推進センター (Center for Glocal Strategy) の略であり、グローバル教育部門、教育支援部門、産学官連携推進部門、及び研究支援部門からなる。さらにグローバル教育部門は、グローバル教育専門部会と社会連携実践専門部会とに細分される。CGS グローカル教育部門の詳細については、下記 web ページの特に「グローバル教育プログラム」及び「留学プログラム」をご覧ください。 <http://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/ged/> (今後、組織や規程の改変の可能性もあります。)

※【参考】CGS グローカル教育部門は、部門の予算や人事等に関する審議の他、以下の業務を行います (令和元年 5 月 1 日現在)。

- (1) グローカルマネジメント副専攻プログラム (GMP) および短期留学プログラムに関すること。
- (2) 学生国際交流の実施に関すること。
- (3) 国際交流会館の管理運営に関すること。
- (4) 長期学外学習プログラムに関すること。
- (5) 他機関と連携する留学プログラムに関すること。
- (6) その他、グローバル教育に関して必要なこと。

※【参考】CGS グローバル教育専門部会は、主に以下の業務について企画・運営します (令和元年 5 月 1 日現在)。

- (1) 短期留学プログラムに関すること。
- (2) グローカルマネジメント副専攻プログラム (GMP) に関すること。
- (3) 日本語教育に関すること。
- (4) 国際交流科目に関すること。
- (5) 留学生の就学指導等に関すること。
- (6) 派遣留学に関すること。
- (7) ギャップイヤープログラムに関すること。
- (8) 国際交流会館の管理運営に関すること。
- (9) その他グローバル教育に関すること。